

# **登別市津波避難計画（地域計画）**

## **【登別市津波避難ハンドブック】**

**美園・若草地区連合町内会・登別市**

**平成29年2月10日 策定**

## はじめに

平成23年3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東日本大震災が発生し、東日本を中心に甚大かつ深刻な被害を受けました。

平成24年6月28日に北海道が公表した「太平洋沿岸の津波浸水予測図」において、登別市は高いところで10.2メートルの津波により市街地の多くが浸水する予測となっています。

この予測はあくまでも予測であり、必要以上に心配することはありませんが、平時から津波に備えておくことが大切です。

津波から尊い人命を守るためには、市民一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という考えをしっかりと持って津波から避難することが何よりも大切であり、津波による被害を最小限に食い止めることにもつながります。

この「登別市津波避難計画（地域計画）」は、津波発生直後から津波が終息するまでの概ね数時間から3日にかけて、住民の生命と身体の安全を確保するため、「登別市津波避難計画」をもとに、地区連合町内会を単位とした市民の皆さんと市が協同で策定した地域版の津波避難計画です。

この冊子では、お住まいの地域の高台避難場所をはじめ、避難する際に注意を要する箇所などを掲載しています。

各家庭で高台避難場所をご確認いただくとともに、高台避難場所までの避難経路を書き込み、津波に備えてください。

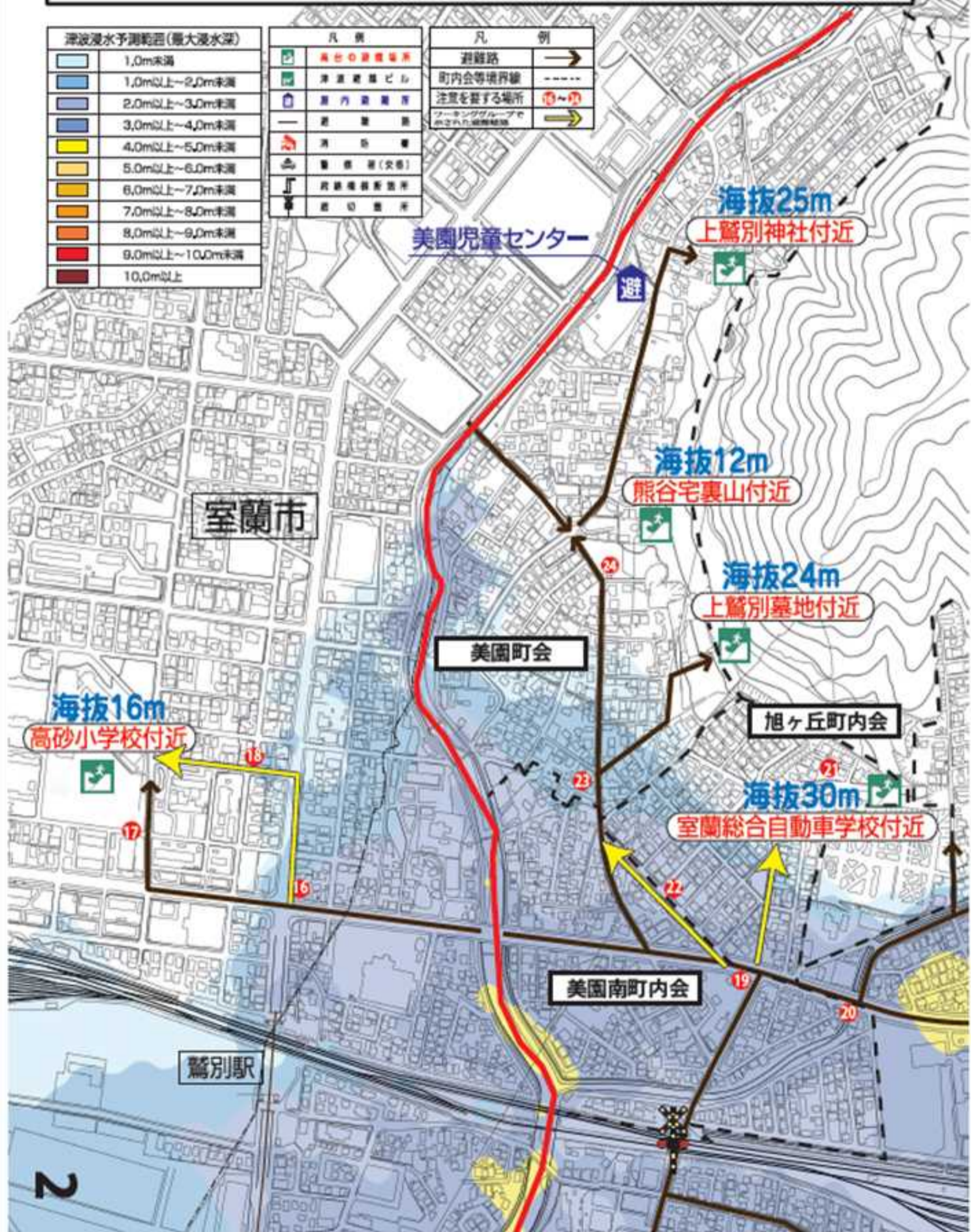


美園・若草地区連合町内会の津波避難計画図 1

津波浸水予測範囲(最大浸水深)	
	1.0m未満
	1.0m以上～2.0m未満
	2.0m以上～3.0m未満
	3.0m以上～4.0m未満
	4.0m以上～5.0m未満
	5.0m以上～6.0m未満
	6.0m以上～7.0m未満
	7.0m以上～8.0m未満
	8.0m以上～9.0m未満
	9.0m以上～10.0m未満
	10.0m以上

凡 例	
	高台(避難場所)
	津波避難ビル
	屋内避難所
	避難所
	消防署
	警察署(交番)
	児童福祉施設
	公民館

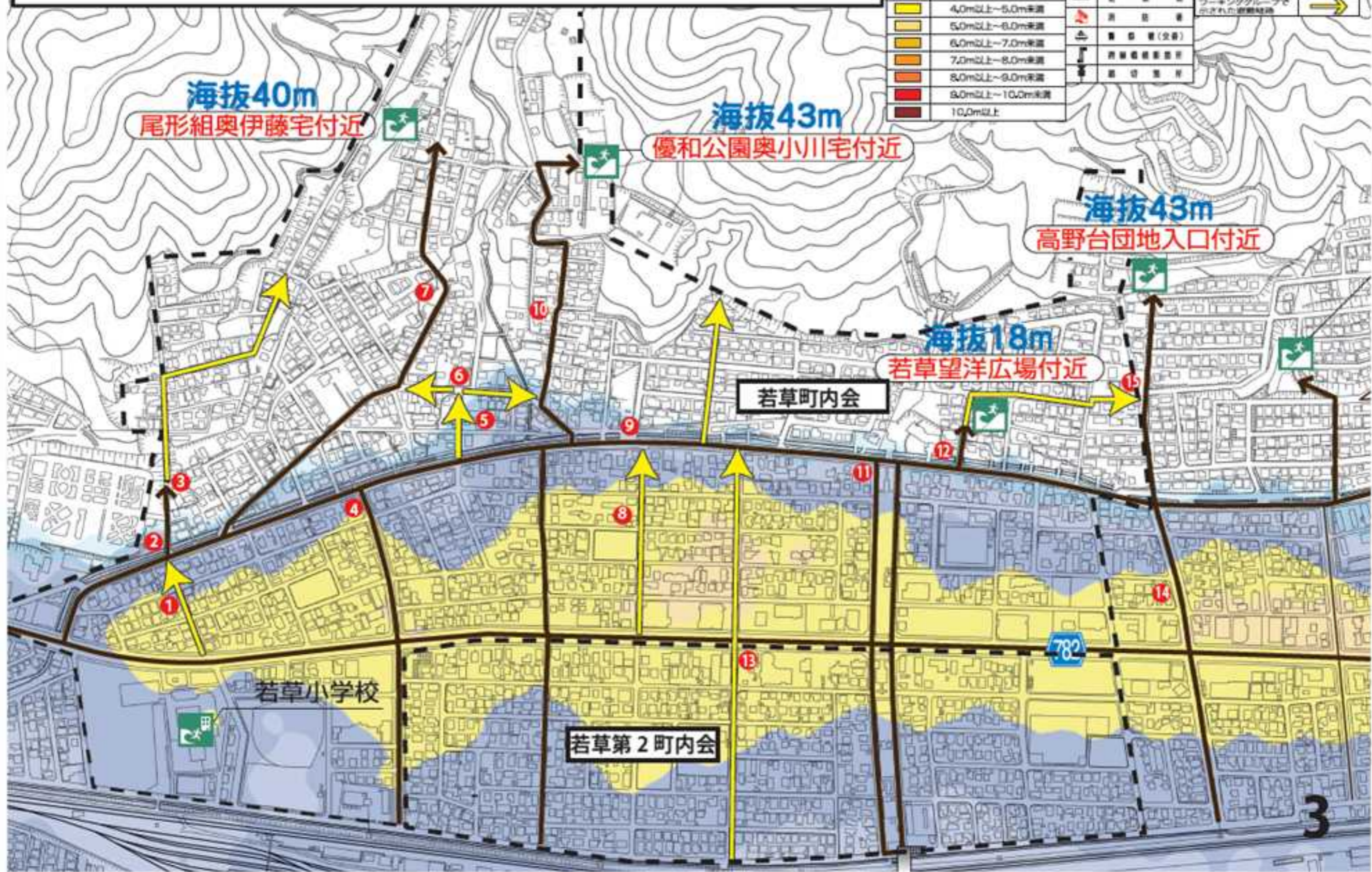
凡 例	
	避難路
	町内会等境界線
	注意を要する場所
	フェーン効果グループで指定された避難経路









# 美園・若草地区連合町内会の津波避難計画図 2

津波浸水予測範囲(最大浸水深)		凡 例	
	1.0m未満		避難所
	1.0m以上~2.0m未満		避難所(危険)
	2.0m以上~3.0m未満		町内会等境界線
	3.0m以上~4.0m未満		注意を要する場所 ①~⑮
	4.0m以上~5.0m未満		ワーキンググループで 示された避難経路
	5.0m以上~6.0m未満		避難所(公園)
	6.0m以上~7.0m未満		避難所(公民館)
	7.0m以上~8.0m未満		避難所(学校)
	8.0m以上~9.0m未満		避難所(公民館)
	9.0m以上~10.0m未満		避難所(学校)
	10.0m以上		避難所(学校)







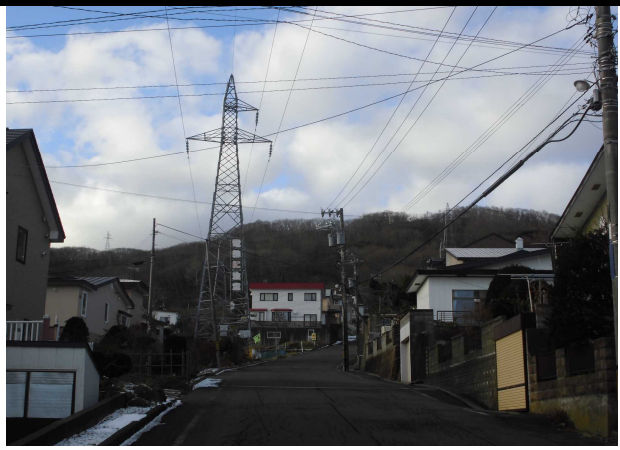

## 避難時に注意を要する場所

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
①	若草町 3 丁目 市道若草 30 号線	歩道がないため、 通行する際は注 意が必要	
②	若草町 3 丁目 市道若草 30 号 線と鷺別学田路 線の交差点	鷺別学田通を横 断する手押し信 号機あり  車の交通量が多 いため、道路を横 断する際は注意 が必要	
③	美園町 4 丁目 鷺別学田路線か ら市道美園 30 号線	傾斜の急な坂道  特に冬期間は路 面凍結に注意が 必要	
④	若草町 3 丁目 市道若草 37 号 線と鷺別学田路 線の交差点	信号機付きの横 断歩道あり  車の交通量が多 いため、道路を横 断する際は注意 が必要	

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑤	若草町 3 丁目 市道若草 26号線	歩道がない坂道 なので、通行する 際は注意が必要	
⑥	若草町 3 丁目 市道若草 19号線	信号機がないた め、道路を横断す る際は注意が必要	
⑦	若草町 5 丁目 市道若草 1号線	ゆるやかな坂道 が続く  冬期間に通行す る際は注意が必要	
⑧	若草町 4 丁目 市道若草 57号線	歩道がないため、 通行する際は注 意が必要	




	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑨	若草町 4 丁目 市道若草 5 7 号線と鷲別学田線の交差点	信号機付きの横断歩道あり 車の交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑩	若草町 6 丁目 市道若草 1 号線	傾斜の急な坂道 特に冬期間は路面凍結に注意が必要	
⑪	若草町 4 丁目 市道若草 1 0 0 号線と鷲別学田路線の交差点	車の交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑫	若草町 6 丁目 市道若草 8 7 号線	歩道がないため、通行する際は注意が必要	

	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑬	若草町 2 丁目 道道 7 8 2 号線	信号機付きの横断歩道あり  車の交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑭	新生町 3 丁目 市道 新生 2 3 号線	高圧鉄塔のある坂道  鉄塔が倒壊または倒壊する恐れがあるときは使用しない	
⑮	若草町 6 丁目 市道 新生 1 号線	高圧鉄塔のある坂道  鉄塔が倒壊または倒壊する恐れがあるときは使用しない	
⑯	室蘭市高砂町 道道 7 8 2 号線 と道道 1 0 7 号線 の交差点	信号機付きの横断歩道あり  車の交通量が非常に多いため、道路を横断する際は注意が必要	



	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑰	室蘭市高砂町 高砂中央通線	傾斜の急な坂道 特に冬期間は路面凍結に注意が必要	
⑱	室蘭市高砂町 高砂1丁目 6号線	傾斜の急な坂道 特に冬期間は路面凍結に注意が必要	
⑲	美園町2丁目 鷺別学田路線と 道道782号線の 交差点	信号機付きの横断歩道あり 車の交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
⑳	美園町2丁目 鷺別学田路線と 道道782号線の 交差点	信号機付きの横断歩道あり 車の交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	



	注意を要する場所	注意を要する理由	現 状
⑳	美園町 4 丁目 市道 美園 3 0 号線	傾斜の急な坂道 特に冬期間は路面凍結に注意が必要	
㉑	美園町 4 丁目 市道 美園 3 6 号線	車の交通量が多いため、道路を横断する際は注意が必要	
㉒	美園町 5 丁目 鷺別旧墓地路線	車の交通量が多く見通しが悪い ため、道路の横断注意	
㉓	美園町 5 丁目 鷺別旧墓地路線	車の交通量が多く見通しが悪い ため、道路の横断注意	



## 津波避難ビル


津波避難ビルとは、緊急的・一時的な避難施設であり、地震発生から津波避難までの時間や地形の条件などの理由により、「直ちに高台へ逃げる」という、本来、津波から身を守るための避難が困難であると想定される地域において、やむを得ず使用する避難施設です。

	名 称	一時避難場所	外 観
①	若草小学校	3階	

※ 津波避難ビルを新たに選定した際は、広報紙などでお知らせしますので、各家庭で本ハンドブックに書き込みしてください。



## 高台の避難場所

	名 称	海 抜	現 状
①	若草町 6 丁目 若草望洋広場 付近	海拔 1 8 m	
②	新生町 5 丁目 高野台団地入口 付近	海拔 4 3 m	
③	上鷲別町 優和公園奥 小川宅付近	海拔 4 3 m	
④	上鷲別町 尾形組奥 伊藤宅付近	海拔 4 0 m	

	名 称	海 拔	現 状
⑤	美園町 4 丁目 室蘭総合自動車 学校付近	海拔 3 0 m	
⑥	美園町 5 丁目 上鷲別墓地付近	海拔 2 4 m	
⑦	美園町 5 丁目 熊谷宅裏山付近	海拔 1 2 m	
⑧	美園町 5 丁目 上鷲別神社付近	海拔 2 5 m	
⑨	室蘭市高砂町 高砂小学校付近	海拔 1 6 m	



## 津波災害に備えて準備しましょう

非常用持出品・非常用備蓄品の準備は、防災対策の基本ですので、家族構成に合わせて準備しましょう。

定期的に食糧の賞味期限や電化製品の故障がないかをチェックすることも忘れずに実施してください。

### 非常用持出品（災害発生時に最初に持ち出すもの）

救援活動を受けられるまでの間（目安として3日間）を見込んだ非常用持出品です。

各家庭で必要と思われる持出品を備えておきましょう。

#### ○食糧

非常用食糧（乾パンや災害備蓄用パン、乾燥米飯、缶詰など火を通さなくていいもの×3日分程度）

#### ○水

非常用保存飲料水（ペットボトル500ml×3本程度）

#### ○生活用品

懐中電灯、携帯ラジオ、ウエットティッシュ、加熱パック、軍手、タオル、洗面用具、食品用ラップ、ナイフ・缶切り、生理用品、非常用トイレ袋、医薬品、サバイバルシート、ティッシュ、ビニール袋、使い捨てカイロ、カップ、ローソク、マッチ、防災マップなど

## **非常用備蓄品（災害に備え各家庭で備蓄しておくべきもの）**

非常用備蓄品は、津波災害に限らず、さまざまな災害に備えておくべきもので、自宅などで避難生活を送る上で必要なものです。救援物資が届くまでの期間（最低3日間、推奨7日間を家族人数分）、自足できる分量を備えましょう。

### **○食糧**

そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。

缶詰やレトルト食品、切りもち、チョコレート、梅干し、チーズ、調味料など非常食（乾パンや災害備蓄用パンなど、火を通さずに食べられるもの）

### **○水**

飲料水は大人1人当たり1日3リットルが目安。

飲料水以外に炊事、洗濯、トイレなどに使う生活用水の確保のため、風呂の水は抜かず、寝る前はやかんやポットに水を入れておきましょう。

### **○生活用品**

カセットコンロ、紙食器、割りばし、ウエットティッシュ、トイレトーパー、加熱パック、軍手、タオル、洗面用具、水のいらぬシャンプー、食品用ラップ、ナイフ・缶切り、生理用品、非常用トイレ袋、医薬品、サバイバルシート、ティッシュ、ビニール袋、使い捨てカイロ、カップ、ローソク、マッチ、マスク、ランタン、寝袋、防災マップなど

## **非常用持出品（乳幼児がいる場合）**

粉ミルク、レトルトや缶詰の離乳食、哺乳ビン、スプーン、哺乳ビンの消毒剤、紙おむつ、お尻ふき、着替えの服、抱っこひも、ベビーソープ、バスタオル、医薬品、ガーゼ、爪切り、母子手帳など

## **非常用持出品（高齢者がいる場合）**

レトルト食品（おかゆなど）、医薬品、老眼鏡、入れ歯と入れ歯ケース、補聴器など



## 津波からの避難マニュアル

緊急地震速報（警報）が発表されたときは、まずは自分の身の安全を確保しましょう。

屋内では、頭を保護し、丈夫なテーブルの下など安全な場所に避難しましょう。

屋外では、ブロック塀の倒壊、看板及び割れたガラスの落下に注意しましょう。

避難するために助け合える時間は、津波が来るまでの限られた時間しかありません。

いざというときに速やかに避難できるよう家族や近所の人たちと話し合っておきましょう。

### 揺れがおさまったら

○ **テレビやラジオで情報収集に努める。**

特に津波の情報（大津波警報、津波警報、津波注意報）を急いで確認しましょう。身の安全を図りましょう。

○ **大津波警報や津波警報が発表されたら、すぐに避難する。**

### 日頃から備えましょう

- 高齢などのため、自ら避難することが困難な世帯を地域で情報交換をしながら確認しておきましょう。
- 日頃から声をかけ合う近所付き合いをしましょう。
- どこに避難したらよいか、安全な場所と避難経路を一人ひとりが確認しておきましょう。
- 聴覚障がい者など、呼びかけに気づかない人もいるので、情報を必要とする人を地域で確認しておきましょう。

## 避難するためには

- 高齢者や障がい者の避難を支援するとともに、避難していない人に声をかける。

### 日頃から備えましょう

- 高台避難場所に避難するまでの所要時間、避難経路を一人ひとりが確認しておきましょう。
- 歩けない人など、担架やリヤカーが必要な人を地域で確認し、支援について話し合いをしておきましょう。

## 津波が迫っていて、時間的な余裕が少なくなったら

- 自分の身の安全を第一に行動する。一目散に避難する。

### 日頃から備えましょう

- 自分の命は、自分で守らなければならないことを一人ひとりが自覚しましょう。

## 安全な場所に避難したら

- 安全が確認されるまで避難場所にとどまる。
- まわりの人たちと励まし合う。
- 安全が確認されるまでむやみに避難場所から動かない。

### 日頃から備えましょう

- ラジオなどで情報収集ができるようあらかじめ非常用持出品を備えておきましょう。



## わが家の防災メモ

- ハンドブックにある津波避難計画図で高台避難場所を確認し、避難経路を書き込みましょう。
- 防災マップなどで外出先での高台避難場所を確認しましょう。

わが家の避難場所 (高台避難場所名)	
-----------------------	--

家族の名前	血液型	電話番号 (携帯電話など)	会社・学校	
			名称	電話番号

親戚・知人の名前	電話番号 (携帯電話など)	メモ

緊急連絡先	電話番号	緊急連絡先	電話番号
登別市役所 (代表 夜間・休日)	0 1 4 3 - 8 5 - 2 1 1 1		
登別市役所 (総務グループ防災担当)	0 1 4 3 - 8 5 - 1 1 3 0		
登別市消防署	0 1 4 3 - 8 5 - 2 5 5 1		
登別交番	0 1 4 3 - 8 5 - 2 1 3 6		